

## 第94回日本学生氷上競技選手権大会ホッケー部門要項（セカンドディビジョン）

### 1. 参加資格

日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、各地区の最終予選においてファーストディビジョンへの出場権を得ることのできなかったチームの中で、予選会において最も上位の成績を収めたチーム8校（北海道1、東北1、北信越1、関東1、中部1、関西1、中四国1、九州1）

### 2. 出場制限

(1)ベンチ入りする選手は、ゴールキーパー最小1名、最大2名。プレイヤー最小10名、最大20名とし、ゴールキーパー1名を含み総勢11名未満のチームは出場資格を持たない。

(2)試合に際して、登録された責任者(チームを管理するスタッフ:監督、コーチ等)が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小1名、最大6名とする。スタッフとは監督・コーチとして(公財)日本アイスホッケー連盟に登録されている者とする。

(3)外国籍学生の出場は1校につき2名以内とする。

(4)学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャーが2名以内でベンチ入りすることができる。その際には必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。またドアマンもスタッフ含む。

### 3. 競技方法

(1)上記8校によるトーナメント戦により1位～3位を決定する。

(2)試合は正味20分×3ピリオドで行なう。インターバルは、10分とする。タイムアウト(30秒)は全試合、各チーム1回使用できるものとする。

(3)第3ピリオド終了時点において同点の場合、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ペナルティー・ショット・シュートアウト」(PSS)の方式に従うが、5名ではなく3名による「ペナルティー・ショット・シュートアウト」により勝敗を決定する。この場合3名のノミネートは不要で、リンクサイドは片面だけを使う。なお、3名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式(サドンデス)で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてシュートしても良い。

(4)練習時間は、1、2回戦は7分間、決勝戦は10分間。

(5)日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、2018年に改定された国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。

### 4. 全国学生総会において各地区のトーナメントの位置を抽選で決定する。

5.

1～3位に賞状を授与する。

優勝チームの所属する地区には、次年度のファーストディビジョン参加チーム1枠を増加する。